

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立 本木 小学校 校長 井出 誠

1 学校教育目標

- ①かしこい子：自ら問いをもち、見通しをもって学び続ける子
- ②思いやりのある子：自分や友達のよさを認め合い、励まし合い、高め合える子
- ③たくましい子：夢に向かってしなやかにたくましく挑戦し続ける子

2 現状の学校図書館の課題

- ①図書館が4階にあり、教室から遠い場所にある。
- ②本に親しみがなく、読書をする習慣があまりない。
- ③図書館の割り当ての時間が決まっているため、使いたいときに使えないことがある。

3 今年度の学校図書館の目標

- ①学校図書館及び、校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。
- ②様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。

4 今年度の重点取組

- ①学校図書館を使う授業を行い、本に触れる機会を増やす。
- ②各学級週1回以上、読書や探求活動の授業を学校図書館で行う。
- ③読書月間

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館を活用して取り組む単元等）
国語	①じどう車くらべ ②本でしらべてしょうかいしよう ③図書館たんていだん・[じょうほう]引用するとき ④分類をもとに本を見つけよう・「読書発表会」をしよう・「不思議ずかん」を作ろう・調べてわかったことを発表しよう ⑤図書館を使いこなそう ⑥書評を書いて話し合おう
社会	⑤自動車工業のさかんな地域 ⑥つながりの深い国々の暮らし
理科	③わたしの研究 ④月や星・冬の星 ⑤わたしの研究
総合	⑤宿泊学習、事前学習（鋸南） ⑥宿泊学習、事前学習（日光）

実践の評価

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ①読書時間の確保（週1回） ②授業の中でも積極的に図書館の本を利用する

(2) 主な行事の取り組み

- ①親子読書（年2回） ②ポップコンクール ③出張図書館

(3) 図書委員会などの取り組み

- ①読書ビンゴ ②下学年への読み聞かせ

(4) 環境整備の取り組み

- ①新規購入図書の受け入れ後も、児童の手が届く範囲に図書を配置できるように、廃棄図書を想起に確定させる。

(5) 司書・外部との連携

- ①図書ボランティアと学校図書館支援員のかけ橋となり、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。
②学校図書館支援員のオリエンテーションを通して、教員も学校図書館支援員と協力できる体制を整えることで、学校図書館を使いやすいようにする。

実践の評価

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	本を読む習慣をつける。	児童の年間平均貸出冊数：70冊	
②	調べる学習を行う際は、ICTだけでなく、本や新聞など複数の情報を活用して学習させる。	学校図書館を利用した授業の実施：年10回	
③	年間の学習指導内容に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書や資料を活用した教員の割合：50%	

8 学校図書館全体に関する自己評価